

○基本情報

記載日

平成28年2月15日

団体名	神戸航空貨物ターミナル株式会社	所管局名	みなと総局
設立目的	平成6年9月4日の関西国際空港の開港によって訪れた本格的な「空の時代」に対応して、西日本一円の航空貨物の物流拠点としての、荷さばき、通関、保管及び関西国際空港への集中輸送等の機能を備えた「神戸航空貨物ターミナル」を整備運営することにより、神戸港を海空陸の総合的な物流ネットワークの結節点として、さらに発展させることを目的として設立された。		

M

市が団体「求め」を「提供する」Mission

長期	公共的サービスを提供することでフォワーダーを集積し、「海・空・陸」の総合的な物流ネットワークの結節点として、効率的なターミナル運営を行う。
5年	通関機能や集中輸送サービス等を提供するとともに、上屋及び事務所等を管理することにより、総合的な物流ネットワークの結節点として、地元企業の発展に貢献すること。

V

市民「提供」する価値 Value

1
荷さばき、通関、保管及び関西国際空港への集中輸送等を行うことにより、フォワーダーおよび地元企業は業務の効率化を図ることができる。

T

事業目標 Target

A
通関、検疫機能を維持し、安定的なターミナル運営を行い、損益の面では黒字を確保し、財務基盤の安定を図る。

平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年8月16日
団体名	神戸航空貨物ターミナル(株)	所管局名	みなと総局

○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号: 1)
H29事業目標	引き続き、通関、検疫機能を維持し、安定的なターミナル運営を行い、損益面では黒字を確保する。		
H29実績評価	平成29年度は、税関等関係行政機関とも連携し、安定的な通関サービスの提供に努め、地元企業の輸出入業務に寄与した。 損益面では、経費の削減を図る一方で、上屋等施設の入居促進に努めた結果、当期純利益5千2百万円を計上し、目標は達成できた。	評価	
		S A B C	
H30事業目標	引き続き、スムーズな通関のための機能を維持し、安定的なターミナル運営を行い、損益面では黒字を確保する。		
評価担当者	総務グループ課長 八田 正樹		

平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年8月30日
団体名	神戸航空貨物ターミナル(株)	所管局名	みなと総局

○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	【総合評価の理由】 通関、検疫機能を維持し、安定的なターミナル運営を行い、損益面では経費の削減を図り、施設入居促進等の企業努力の結果、黒字を確保したため、目標どおり達成したといえる。	総合評価
		S A B C
対応方法 (総合評価がB又はCの場合は必ず記載)		
評価担当者	みなと総局総務課長 和泉 智久	